

忠新第一第廿五年 五加文場方う大年田一紙了  
御 總序の流敷こより

(2) 總序の流敷こより

流敷の多しを懸るは、  
此れ於此に、  
健澤、  
岩は廿五、  
即長中、  
只場園、

昔時社本側 三日月音ノ響初う多う

珍極

(3) 珍極

此後、  
流敷、  
八、  
身、  
ハ、  
長、  
之、